



## 2019年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年5月8日

上場会社名 荏原実業株式会社

上場取引所 東

コード番号 6328 URL <https://www.ejk.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 会長 兼 社長 (氏名) 鈴木 久司

問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 総合企画室長 (氏名) 大野 周司

TEL 03-5565-2885

四半期報告書提出予定日 2019年5月15日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年12月期第1四半期の連結業績(2019年1月1日～2019年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第1四半期	11,337	4.3	1,827	0.8	1,850	1.9	1,280	1.2
2018年12月期第1四半期	10,869	3.3	1,813	2.5	1,815	2.0	1,265	1.4

(注) 包括利益 2019年12月期第1四半期 1,652百万円 (65.2%) 2018年12月期第1四半期 999百万円 (34.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第1四半期	194.28	
2018年12月期第1四半期	188.65	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年12月期第1四半期	31,916	13,942	43.7
2018年12月期	26,584	12,520	47.1

(参考) 自己資本 2019年12月期第1四半期 13,942百万円 2018年12月期 12,520百万円

(注) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前連結会計年度に係る数値については、当該会計基準を遡って適用した後の数値となっております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期		25.00		35.00	60.00
2019年12月期					
2019年12月期(予想)		30.00		30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2019年12月期の連結業績予想(2019年1月1日～2019年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	15,300	4.9	1,640	6.2	1,700	5.6	1,210	4.3	183.55
通期	29,000	1.0	2,180	1.9	2,310	2.6	1,650	3.1	250.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年12月期1Q	6,715,000 株	2018年12月期	6,715,000 株
期末自己株式数	2019年12月期1Q	122,867 株	2018年12月期	122,867 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年12月期1Q	6,592,133 株	2018年12月期1Q	6,707,232 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報及び想定できる経済情勢、市場動向などを前提として作成したものであり、今後の様々な要因により、予想と異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(追加情報) .....	8
(セグメント情報) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2019年1月1日から2019年3月31日）におけるわが国経済は、堅調な企業業績のもとで雇用環境、個人所得に改善が見られ、緩やかな回復基調が続いております。しかし、海外の政治・経済の不安定な動向により、景気の先行きは不透明な状況が継続しております。

当社を取り巻く環境装置機械業界においては、公共分野では、上下水道関連設備の更新・改修・機能強化、災害対策などの需要が引き続き活発であります。また、民間分野では、首都圏を中心とした都市再開発需要に依然として底堅いものがあります。しかし、企業間の価格競争の高まりや景気の不透明感を反映した設備投資需要の停滞など、懸念すべき状況も予想されております。

このような事業環境の下、当社グループは、企業価値の向上を目指し、以下の戦略に取り組んでおります。

## (環境関連)

環境関連セグメントを企業成長の核とすべく、自社製品の拡販とラインナップの充実を進めるために、

- ① 既存製品のブラッシュアップ
- ② アフターサービスの充実
- ③ 新製品の投入

## (水処理関連)

販売エリアの拡大と売上総利益率の向上を図るために、

- ① 選択受注、積算技術の向上、原価意識の徹底
- ② 実績の少ないエリアへの進出
- ③ 防災需要の取り込み強化

## (風水力冷熱機器等関連)

引き続き活発な建設需要を取り込むために、

- ① 都市再開発需要へのアプローチ強化
- ② 多様化するニーズに対応した取扱製品の拡充

これらの活動の結果、当第1四半期連結累計期間の受注高は46億7百万円（前年同期比2.2%減）、売上高は113億37百万円（前年同期比4.3%増）、営業利益は18億27百万円（前年同期比0.8%増）、経常利益は18億50百万円（前年同期比1.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は12億80百万円（前年同期比1.2%増）となりました。

なお、当社グループは売上高に占める官公庁の割合が高いことから、通常の営業形態として第1四半期連結累計期間に計上される売上高割合が高く、一方で販管費及び一般管理費は年間を通じてほぼ均等に発生するため、利益が第1四半期連結累計期間に偏るといった季節的な変動があります。

セグメントの業績は、以下のとおりであります。

## (環境関連)

環境関連製品の製造・販売を手掛ける当セグメントの受注高は、浄水場向け案件の増加によって計測分野が増加し、また水産案件の増加によって水処理プラント分野が増加したものの、脱臭分野の減少によって、セグメント全体では前年同期比8.4%減の9億99百万円となりました。売上高は、計測分野が減少したものの、脱臭分野、水処理プラント分野が増加し、前年同期比1.3%増の17億38百万円となりました。セグメント利益は、売上高は増加したものの、売上総利益率が高い分野の売上高構成比率の減少により、前年同期比23.5%減となる3億61百万円となりました。

## (水処理関連)

上下水道向けの設計・施工を手掛ける当セグメントの受注高は、上下水道設備の更新案件等が増加したことによって、前年同期比4.9%増の13億88百万円となりました。しかし、売上高は、期首受注残高の減少により前年同期比2.3%減の62億91百万円となり、セグメント利益も売上高の減少に伴い、前年同期比1.2%減となる12億51百万円となりました。

## (風水力冷熱機器等関連)

主にポンプ、冷凍機、空調機器などを商社として販売する当セグメントは、首都圏の再開発案件等を中心に需要は依然として底堅いものがあり、受注高は前年同期比3.4%減の22億19百万円とやや減少しましたが、売上高は前年同期比21.8%増の33億7百万円となり、セグメント利益も売上高の増加に伴い、前年同期比48.4%増の4億3百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間の受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(百万円)	前年同期比(%)	受注残高(百万円)	前年同期比(%)
環境関連	999	91.6	2,257	105.2
水処理関連	1,388	104.9	6,982	77.1
風水力冷熱機器等関連	2,219	96.6	3,220	88.8
合計	4,607	97.8	12,460	84.0

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は319億16百万円となり、前連結会計年度末と比べ53億32百万円の増加となりました。主な要因は、現金及び預金の増加5億16百万円、受取手形及び売掛金の増加47億27百万円、棚卸資産の減少4億31百万円等であります。

当第1四半期連結会計期間末における負債は179億73百万円となり、前連結会計年度末と比べ39億9百万円の増加となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金の増加38億63百万円、前受金の減少5億39百万円、未払法人税等の増加2億25百万円等であります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産は139億42百万円となり、前連結会計年度末と比べ14億21百万円の増加となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益12億80百万円の計上、剰余金の配当2億30百万円による減少、保有有価証券の時価上昇によるその他有価証券評価差額金の増加3億67百万円等であります。この結果、自己資本比率は43.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年2月13日付「2018年12月期 決算短信」にて発表しました2019年12月期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,170	6,687
受取手形及び売掛金	10,486	15,214
商品及び製品	779	620
仕掛品	217	227
未成工事支出金	592	304
原材料及び貯蔵品	212	217
その他	96	67
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	18,553	23,337
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,170	3,170
減価償却累計額	△1,675	△1,698
建物及び構築物(純額)	1,494	1,471
機械装置及び運搬具	147	183
減価償却累計額	△94	△95
機械装置及び運搬具(純額)	53	88
工具、器具及び備品	612	621
減価償却累計額	△500	△511
工具、器具及び備品(純額)	111	109
土地	1,360	1,360
その他	3	3
減価償却累計額	△3	△3
その他(純額)	0	0
有形固定資産合計	3,020	3,030
無形固定資産	78	99
投資その他の資産		
投資有価証券	3,160	3,699
保険積立金	933	908
投資不動産(純額)	692	690
繰延税金資産	12	19
その他	240	237
貸倒引当金	△107	△107
投資その他の資産合計	4,931	5,448
固定資産合計	8,031	8,578
資産合計	26,584	31,916

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,454	13,318
短期借入金	1,090	1,090
未払法人税等	443	669
未払消費税等	152	271
前受金	1,391	852
賞与引当金	-	196
工事損失引当金	115	115
その他	628	564
流動負債合計	13,276	17,076
固定負債		
繰延税金負債	417	517
役員退職慰労引当金	158	158
退職給付に係る負債	139	147
その他	72	73
固定負債合計	787	897
負債合計	14,064	17,973
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,001	1,001
資本剰余金	831	831
利益剰余金	9,912	10,962
自己株式	△291	△291
株主資本合計	11,454	12,504
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,138	1,505
退職給付に係る調整累計額	△72	△67
その他の包括利益累計額合計	1,066	1,438
純資産合計	12,520	13,942
負債純資産合計	26,584	31,916

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)
売上高	10,869	11,337
売上原価	7,731	8,207
売上総利益	3,138	3,129
販売費及び一般管理費	1,325	1,302
営業利益	1,813	1,827
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	6	9
投資不動産賃貸料	23	24
その他	1	1
営業外収益合計	31	36
営業外費用		
支払利息	1	1
不動産賃貸費用	9	9
保険解約損	15	1
その他	1	0
営業外費用合計	28	12
経常利益	1,815	1,850
税金等調整前四半期純利益	1,815	1,850
法人税、住民税及び事業税	609	641
法人税等調整額	△58	△71
法人税等合計	550	570
四半期純利益	1,265	1,280
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,265	1,280



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)
四半期純利益	1,265	1,280
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△271	367
退職給付に係る調整額	5	4
その他の包括利益合計	△265	371
四半期包括利益	999	1,652
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	999	1,652
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年1月1日至2018年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	環境関連	水処理関連	風水力冷熱 機器等関連			
売上高						
外部顧客への売上高	1,716	6,437	2,714	10,869	-	10,869
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	1,716	6,437	2,714	10,869	-	10,869
セグメント利益	472	1,266	271	2,011	△198	1,813

(注) 1. セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年1月1日至2019年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	環境関連	水処理関連	風水力冷熱 機器等関連			
売上高						
外部顧客への売上高	1,738	6,291	3,307	11,337	-	11,337
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	1,738	6,291	3,307	11,337	-	11,337
セグメント利益	361	1,251	403	2,016	△189	1,827

(注) 1. セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。